

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.39		-	2.7
1 音環境						2.5	0.15	-	-	2.5
	1.1 室内騒音レベル			—	3.0		0.40	-	-	
	1.2 遮音				1.8		0.40	-	-	
	1	開口部遮音性能			1.0		0.60	-	-	
	2	界壁遮音性能			3.0		0.40	-	-	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	
	1.3 吸音				3.0		0.20	-	-	
2 温熱環境						2.8	0.35	-	-	2.8
	2.1 室温制御			—	3.4		0.50	-	-	
	1	室温			3.0		0.38	-	-	
	2	外皮性能			4.6		0.25	-	-	
	3	ゾーン別制御性			3.0		0.38	-	-	
	2.2 湿度制御				1.0		0.20	-	-	
	2.3 空調方式				3.0		0.30	-	-	
	3 光・視環境						2.6	0.25	-	
	3.1 昼光利用			—	1.8		0.30	-	-	
	1	昼光率			1.0		0.60	-	-	
	2	方位別開口					-	-	-	
	3	昼光利用設備			3.0		0.40	-	-	
	3.2 グレア対策				3.0		0.30	-	-	
	1	昼光制御			3.0		1.00	-	-	
	3.3 照度				3.0		0.15	-	-	
	3.4 照明制御				3.0		0.25	-	-	
4 空気質環境						3.0	0.25	-	-	3.0
	4.1 発生源対策			—	3.0		0.50	-	-	
	1	化学汚染物質			3.0		1.00	-	-	
	4.2 換気				2.3		0.30	-	-	
	1	換気量			3.0		0.33	-	-	
	2	自然換気性能			3.0		0.33	-	-	
	3	取り入れ外気への配慮			1.0		0.33	-	-	
	4.3 運用管理				4.0		0.20	-	-	
	1	CO ₂ の監視			3.0		0.50	-	-	
	2	喫煙の制御		敷地内全面禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	2.9
1 機能性						2.7	0.40	-	-	2.7
	1.1 機能性・使いやすさ			—	3.0		0.40	-	-	
	1	広さ・収納性			3.0		0.33	-	-	
	2	高度情報通信設備対応			3.0		0.33	-	-	
	3	バリアフリー計画			3.0		0.33	-	-	
	1.2 心理性・快適性				2.0		0.30	-	-	
	1	広さ感・景観			3.0		0.33	-	-	
	2	リフレッシュスペース			2.0		0.33	-	-	
	3	内装計画			1.0		0.33	1.0	-	
	1.3 維持管理				3.0		0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計			3.0		0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保			3.0		0.50	-	-	
	2 耐用性・信頼性						2.8	0.30	-	
	2.1 耐震・免震・制震・制振			—	3.0		0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0		0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能			3.0		0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.2		0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数			3.0		0.20	-	-	
	2	外壁仕上り材の補修必要間隔			3.0		0.20	-	-	
	3	主要内装仕上り材の更新必要間隔			5.0		0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0		0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0		0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0		0.20	-	-	
	2.4 信頼性				2.0		0.20	-	-	
	1	空調・換気設備			3.0		0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備			1.0		0.20	-	-	
	3	電気設備			3.0		0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法			1.0		0.20	-	-	
	5	通信・情報設備			2.0		0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
	3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
		1 階高のゆとり	階高3.80m以上	4.0	0.60		-	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.1以上0.3未満	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		-	3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-		
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-		
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-		
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-		
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-		
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.1	
1	生物環境の保全と創出		-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		-	2.7	0.50	-	-	2.7
	集合住宅以外の評価			2.7	1.00	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
	4.1	モニタリング	-		-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-		-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		-	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		壁・天井部にLGSを採用して、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。OAフロアも採用している。	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクル排出率75%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1 大気汚染防止		-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		-	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	1.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0		-	-	-	-	-	-	-	-	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	1.0		1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-		-	-											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.3	窓の日射熱取得率(η) 0.2		
U値(W/m2K)	窓システム 3.3	屋根 0.6	外壁 0.8	床 2.7
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AC -	η AH -
昼光率	0.0%			
自然換気有効開口面積率	0.0%			

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上り材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上り材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	2.7 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	3.8 m					
壁長さ比率	20.0%					
床荷重	- N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	16%	建物緑化指数	0%				
空地率	0%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.82	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%		
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%		
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	0.65	無	0.65	オフサイト再エネ有	-	-
一次エネ削減率	再エネ有		無			-	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		#DIV/0! 隣棟間隔指標Rw -																	
地表面対策面積率		0.0%		屋根面対策面積率		#DIV/0!		外壁面対策面積率		#DIV/0!									
見付面積Sb		㎡		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		0 m		基準高さHb		0 m									
緑地		㎡		水面		㎡		保水性対策面		㎡		高反射対策面		㎡		再帰性反射対策面		㎡	